

まちづくり座談会～長岡公民館～

- ◆日時 2016年6月13日（月）午後7時～9時
- ◆場所 長岡公民館
- ◆参加人数 17人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、長寿健康課長、農林課長、都市計画課長、
総務課長、企画課長、教育部長、こども課長、
総務課職員1人、企画課職員 5人

質問・提言

防災マップについて

配られた防災マップ、卓上で見るのには良いと思うが、これをインターネット、web 上に載せる場合、PDF を貼り付けるのではなく、避難所をクリックしたら別ウインドウで開いたり、拡大したり、もっと見やすい状態で載せてほしい。

矢巾町の防災マップ（H11年度のもの）が良かった。

回答 消防防災室長

防災マップ（紙）は、広げてみんなで見られるように、家族で確認できるように配布している。Web 上でも避難所など拡大して見られるように検討していきたい。

矢巾町の防災マップも参考にさせていただきたいと思う。

質問・提言

避難所の開設について

一時避難所、自治公民館がそれにあたると思うが、計画の話に出てきていない。農村部に関して言えば自治公民館が主（基本）になると思う。それがあまり触れられていないのが気になる。自主防災組織云々と言っているが、自治公民館が計画上で取り上げられていない。実際に避難所開設となった時、自治公民館が主体的に動くことになるのだろうか、それは行政が主導するのか。

回答 消防防災室長

自治公民館も活用させていただかなければいけない災害もあると思う。主として水害などをお知らせするハザードマップとして作ったので、まだ自治公民館の調査が不十分であり、町立の学校であれば地震の際も耐震基準を満たしていることから確実に（マップに）載せられるということで載せた。また自治公民館がベースとなって動いている自主防災組織もあると思いますので、状況を把握していきたい。皆様から情報をお聞きしてタイアップしていきたい。

今回のマップ、地域防災計画は比較的被害が大きいものを想定して作成した。その上で

各公民館、小学校を（避難所に）設定した。災害の形態によって協力する場面が異なってくるので、計画を進める中で検討していきたい。

質問・提言

避難所3種類あるが、いざとなった時、個人で判断して使い分けるのか？

回答総務課長

災害対策本部から各消防団へ情報が流れ、避難所の案内をする。

災害に応じて、おおむねどこに避難すればよいか、各個人にも事前に整理しておいていただいて、実際には町の対策本部が避難所開設の情報を流した上で行動していただくことになる。

質問・提言

情報が流れてから行動しなさいということですか？

回答総務課長

地域的な事情で、地元の消防団と判断する場合もあるだろうが、通常考えられるのは災害対策本部からの情報提供で避難をしていただく形だと思う。

質問・提言

関連して、地元からすれば自治公民館、自主防災組織がベースだと思う。上の組織の話をして、実際どう動けばいいのか分からないのが実情。そのベースとなる部分を固めないと、上の組織のことだけ計画してもダメなのでは？

回答総務課長

いただいたご意見を承り、自主防災組織との関わりを作っているところなので、整理しながら進めさせていただきたい。

<自由懇談>

質問・提言

今年の4月ごろ、監査事務局に監査結果についてネット（紫波ネット）に載せることができないか、また財産管理について監査をやっているのかどうか聞いてみた。

ネット（紫波ネット）については検討してみる、財産管理については個々の課に任せている、なぜかというとな財産を管理するためには財政が出てくる、そういう関係で監査事務局では対応できないので各課に任せているとの回答があった。各課に任せているのであれば、各課の課長（部長）が責任を持って（備品等）壊れたときには修繕していかなければならないのではないのか？そのあたりどうなっているのか？

回答企画課長

例として公民館は行政財産といって、そこが行政目的に使う施設なので、所管している

人たちが適切に管理していく。普通財産（役所の仕事に使わないもの）は財政課で一括管理。赤線、青線と言われるものは土木課で管理など、それぞれ所管するところで管理している。壊れたときは、所管するところが維持管理していく。財産権の管理は、行政財産であれば、所管する課で管理。年度末に一覧表にして監査をうけた上で議会に提出。閲覧できるもの。

質問・提言

町長へ、監査のほうはそれでいいのかお聞きしたい。
毎年、私も監査を受けているが、すべて見られるのが監査。
財産管理は財政の関係で各課に任せているから、という答弁で良いのか？

回答企画総務部長

財政、行政事務に関する監査。出納検査。監査請求に応じてやっているものもある。
法律上のやらなければならない監査は実施している。

回答町長

監査委員は、適正な監査手順でやっている。
町の財産の管理が出来ていないのではないか。監査はきちんと指摘しているのか？という意味でのご意見だと思うが、町の保有している財産が様々で、各課に任せていて、そちらが管理しているので監査に問われても答えられないのが実状だが、監査は適正な仕事をしている。疑問に思った点は、指摘いただきたい。

質問・提言

まちづくりについて、人口が減っていくのは止められないだろうに、流れに逆らって投資しても無駄ではないか？むしろ減っていく中でどうしたらいいか考えたほうがいいのでは。

回答総合政策室長

減る前提のもと、（資料裏の）8つの取り組みを掲げている。
減り方をゆるやかにする取り組みを進めていく。人口が少なくなる中で、どのようにすれば良いかを検討し、取り組んでいく。どうしたら一人ひとりが幸せに生きていけるか、そこを目指している。

質問・提言

増やすことは考えていないことか？

回答総合政策室長

人口はどうやっても増えない。矢巾町は増える計画になっているが、国全体が減る中で、減ることは確実。

質問・提言

紫波町立学校のホームページ、ガイドラインがあるようだが、各学校によって温度差がある。 去年の秋から3月まで更新なし、新年度になって更新なし。学校に任せているとしても、管理者としてチェックはすべきではないか？見る側からすれば「なにを！？」と言いたくなる。

回答教育長

把握している。議会筋からも広く学校情報を内外に示していくことを求められている。更新されなくても、閲覧回数で、見られていることは把握している。今日現在、2校が6月になっても更新されていない。これからは更新するよう指導していく。

質問・提言

更新しないのは何が原因か？ システムが悪いのか、担当が不慣れなのか？

回答教育長

システムではない。学校の規模が小さくなってしまい、教員の担当業務の増量したことで、手が回らない。学校の努力が必要。

質問・提言

天王川の維持管理について、今年4月に土木課に TEL。国道456～396の間、河川敷に葦（ヨシ）が生えて繁茂している。今の時期（4月上旬）なら刈ればなんとかなるか？と依頼したが、どうにもならないという回答だった。長岡のメインストリート、見栄えが良くない。何か考えていただきたい。

回答 持ち帰り。

【補足】冬期に行われる天王川の浚渫と併せて除去する予定です。

質問・提言

天王橋上流にあるゴム堰が25年8月9日の豪雨の時、倒れなかった＝水位が上がっても開放されなかった。近隣に被害は無かったが、今後の想定外の雨があったときのことを考え、点検等してもらいたい。

回答持ち帰り。

【補足】ゴム堰の管理は東部土地改良区であることから、土木課から東部土地改良区に適正な管理をお願いしました。

質問・提言

防災マップに、避難優先者、要配慮者とあるが、具体的にどういう人か？また、誰が優先順を決めて対応していくのか？

回答 消防防災室長

体の不自由な方、一人暮らしの高齢の方、民生委員さんや地元の方々に把握している方など、地域で守っていただきたい。役場でも把握している場合もあるので、地元とタイアップして守っていききたいと思う。ご本人とも確認しあっていたらよいと思う。

【町長総括】

- ・避難所に関して、役場でも整理して対応していききたい。避難所を開設して長期間となると小学校や地区の公民館になると思うが、ケースバイケースで考えていききたい。真っ先に逃げなくてはいけないとき、近くの公民館になると思う。大きく解消しなければならない問題は、その都度定めてお知らせする。
- ・日本全体が人口減。北上、滝沢、矢巾は人口増だが、他は減。
税負担を軽くするために整理しなければならないもの、今までの施設が不要になったり、時代時代に合わせて対応していかなくてはならない。若い人たちに負担をかけない、時代に合ったコミュニティと自治体を作っていくものと考えている。考え得るものを地方創生の総合戦略に盛り込んでいる。
- ・町では、JR 沿線、4 号線の間で民間の宅地開発が進んでおり、売れている。
人口減がおこっている原因は、出生数より亡くなる数が多いことによる。
紫波町は出生率 1.39。2.07 まで上がれば人口減を止められる。
子どもを産んでも安心な社会をつくっていききたい。
(若い世代に住んでもらえるようなまちづくりが必要)
- ・監査委員のことなど、疑問に思われていること、町で対応していかなければならない。
監査委員に関しても、要望など具体的におっしゃっていただければ対応していききたい。

まちづくり座談会～中央公民館～

- ◆日時 2016年6月14日(火) 午後7時～9時
- ◆場所 中央公民館
- ◆参加人数 24人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、環境課長、建設部長、
企画総務部長、企画課長、財政課長、税務課長、生涯学習課長、
総務課職員1人、企画課職員5人

<自由討議>

質問・提言

まちづくりについて、人口がいなければ成り立たない。企業誘致の努力が必要ではないか？仕事があれば住まないのではないか？

回答副町長

雇用、職場が大切なのは仰るとおり。都市計画のエリア内であればすぐに利用できる土地もあるが、マッチングは厳しい状況。小さい企業には来ていただいている。犬淵のあたり、誘致の動きはある。紫波インターチェンジ付近、農林水産省の補助事業が入っている農地はある一定の期間を置かないと農地以外に利用できないという制限がある。その制限を外してほしいと国に要望している。権限を地方に移譲するという制度がある。紫波町も要望しているがまだ認められていない。小さい企業や工場であっても町に来ていただけるよう、誘致活動をしている。

働く場所の確保、所得向上のために努めてまいりたい。

質問・提言

防災マップについて、昨今は小さい川の方が氾濫している。街中の小さい川も視野に入れてマップを作っていただけるといいと思う。

回答建設部長

小河川の水害に対する配慮について、公共下水の雨水整備に早くから着手しているが、大坪川は10年に1回の大雨(40mm/h)を余裕をもって流すことを想定して調整池、ポンプ場などが設計されているが、雨量がこれ以上になるゲリラ豪雨には対応できないこともある。これまでは幹線排水路の整備に主眼を置いてきた。小河川にはなかなか補助事業がつかないので、どうしても対処療法でしか整備できないことをご理解いただきたい。町としては、役場の上流側に計画のある調整池と、日詰川のポンプ場、その中間にある宅地の部分の水路整備、この3つを計画から拾い上げて今後検討していかなければならないが、事業費が億単位となる事業なので、即効での整備は難しい。

質問・提言

紫波一花巻断層について、事前に調査して、念頭に置いて対応していただきたい。

回答総務課長

紫波一花巻断層帯について、県で調査して発表したもの。断層が動くのは 1000 年単位、万年単位で動くもの、として発表しているが、前回がいつだったのかはわからない。特に西部地域にはお知らせしながら、予兆がある場合は避難を促したり、被害が甚大になる可能性があるのご留意いただきたいなどの注意喚起をし、実際に起こった場合は迅速な災害対応していく。

【補足】断層の活動間隔は、4000 年以上と考えられており、今後 300 年間で地震が発生する確率はほぼ 0 といわれています。また、地震が発生した場合、マグニチュード 7.4 程度の規模が想定されています。ただし、花巻断層帯の今後の活動について、明確な判断はできないといわれています。

質問・提言

人口問題について。増やす方法を考えないといけない。紫波町内に住宅を建てる場所がない。一中は県内一の生徒数、人口は減っていないが、河西、河東は減少している。企業の誘致も進まない。

回答副町長

国、県内の人口減少傾向を踏まえて、町行政、経営を行う必要がある。

また、若い人たちが紫波町に住みたいと思う施策を講じていく。宅地開発、造成（民間会社、紫波町）も小さいところは進んでいる。子育てしやすい、安心して預けられる保育行政の施策展開が必要。来年 4 月に（仮称）紫波中央駅前保育所が開所することで、町全体の保育所における児童受入定員を 30 人増やし、待機児童を減らす、子供の医療費無料化を、昨年まで小 1 までだったのを小 6 までに拡張、子育てする方々の経済的負担を減らすということを積み上げて、住みたい町にしていきたいと考えている。

質問・提言

丸盛、下丸森、中新田、この 3 つの地区に新しい町名をつけられるかどうか、検討していただきたい。

回答副町長

住居表示の変更は難しい。区画整理事業に町が介入できなくなり、すぐには難しい。提言として持ち帰り検討していく。

質問・提言

水害対策について、区に来ていただいて改めて話し合いをする場を 7 月上旬頃に設けた

い。

回答企画総務部長

総務課と相談して、日程を決める。

【補足】後日（7月23日）に「日詰地区における浸水対策説明会」が開催されました。

<< 休 憩 >>

質問・提言（事前質問）

けやき並木通り、けやきの木について。根はりが強く、歩道がデコボコになって歩きづらい。電線に引っかかりそうで切られているため、のびのびとしていない。自転車通行や除雪の際、苦労している。秋の落葉時、葉っぱの掃除にゴミ袋をたくさん使う。地域の方々の労力もかなり負担がある。切ってしまって、芝桜など他のものを植えてはどうか。

回答建設部長

地区の皆さんは切ってほしい、町外からの方にはとてもいい並木だという方もあり、景観も大切という意見もある。全国で街路樹の倒木や枝落ちで事故が起きている。けやきは大木になる木で寿命は150年とも言われるが、40年ほどで枯れてきている。狭い歩道に植えられ大きくなれない、根を踏まれ傷つけられ病気になる。紫波町では街路に230本植えられている。おっしゃるように交通上での障害が出てきているので、町で維持管理の方針を立てた。保全を前提に管理していくのは止めて、交通安全上支障になる交差点などは伐採、歩道もデコボコのところは伐根し、舗装整備する。その後の歩道整備計画については今後、検討していきたい。

質問・提言

退職した職員に「こういう場は町民のガス抜きだ」と言われた。腑に落ちない。

回答企画総務部長

非常に不謹慎な発言だと思います。座談会はまちづくりのためのものなので、町内各地域のご意見、ご要望などお知らせいただきたいと思います。

質問・提言

平井邸について。国の重要文化財に指定され、3月のひな祭りには1000人もの人が訪れた。地主の平井様から週末は見学に開放していいと言われている。高齢者にはトイレが不便なので、改修をしたい。民間だけでは出来ないので、行政の力を借りたい。

回答副町長

町として何ができるか（トイレ改修も含め）検討する。持ち帰り。

【補足】後日、文書により回答。

(回答要旨)

平井家住宅は主要な建物及び敷地全てが重要文化財に指定され、設備の新規設置に関しても既存施設の改修に関しても、法的な規制がなされ、文化財保護法に基づく文化庁長官の許可が必要となります。許可制度であっても、重要文化財の現状変更は容易なものではなく、保存活用計画の中で、改修工事等が外観や内部構造に大きな影響を及ぼさないこと、つまり平井家住宅の建築時の意匠や文化財的価値をできるだけ損なわず、地域振興等への活用において不可欠なことを位置づけなければなりません。

一方でトイレや案内板など、公開活用に必要な設備の設置は文化庁の国庫補助を申請することが可能な事業でもあり、所有者様のご意向を最優先に、長期的な視点から十分に検討し、維持管理と活用の両立に向けて取り組んでいきます。

質問・提言

旧庁舎について。どのように活用するのか。また、中のものはどうなるのか。管財に聞いても返答なし。有効活用してほしい。

回答財政課長

旧庁舎の備品について、公共施設で必要なものがあれば使ってもらい、あとは業者にみてもらい売却、それでも引き取り手がなく、民間で必要な方がいる場合、お譲りする方向で進めている。今年度いっぱいにかかる見通し。

質問・提言

旧保健センター跡地に 200～300 人収容の文化ホールを造ってほしい。

回答副町長

用地は当面の間、現状のまま利用し、旧保健センターの建物は、借り手がいればお貸しすることも選択肢に入れ検討している。

回答企画課長

旧庁舎の耐震について。昨年度、調査を行った。調査にはお金がかかるので、段階的に進めてきた。今の段階で、低強度コンクリート部分があることが分かり、改修するには費用がかかりすぎるということがわかった（耐震するとお金がかかりすぎる）。今年は、更地にした場合を想定して、地域活性化につながる利用の可能性について、事業者がいないか調査する。

質問・提言

紫波町の遺跡・文化がわかる場所、基点となる場所があるといい。小中学生に学ばせないと、紫波町の観光に対する意識が欠如していくのではないかと？

回答教育長

現在、中央公民館の元事務室で、随時、埋蔵文化財の企画展示をしている。小学 3・4

年生の社会科で副読本「わたしたちの郷土」を用いて町の歴史などの学びや興味へのスタートとしている。

質問・提言

時代を担う子供たちを大事にしている町には未来があると思っている。日詰小学校の入口の道路が劣悪。狭い。側溝も段差があり、危ない。なんとかしてほしいと言っても、今まで何も無かったから大丈夫と言われるが、学校はこれからも続くものなので、事故が起こる前に道路環境を良くしてもらいたい。

作っていただいた日詰小学校の避難所標識、自動車から見えない。自転車でも、よく見ないとわからない。予算が無かったから出来なかったんだ、ではなく、子供たちの教育に関しては予算をきちんととってもらい環境の良いところで育てていただきたい。

紫波総合高校周辺の歩道、整備してほしい。ずっと続いている高校を大事にしていないのが残念。もっと高校を活性化してほしい。

回答 建設部長

日詰小学校の入口については、国道4号の交差点近くであり、国交省の許可が下りないので、国道4号からの進入路を拡幅することは困難。側溝の整備等を考えていく。公民館側の道路から入っていく道路をどうするか、教育委員会と協議しながら改善する余地はあると思う。

紫波総合高校の西側の整備について。交付金事業になり、ある程度町の考えがあれば、整備できるようになってきており、今は水分方面の整備をしている。今後、紫波総合高校付近の整備についても考えていきたいと思う。持ち帰り検討していく。

回答 企画課長

日詰小学校の避難所の標識について。避難所の場所が分からないという声があり、安全・安心・命に関わる部分なので、避難所がわかるようにと緊急的に設置した。恒常的な設置などについて、今後検討していく。

回答 教育長

紫波総合高校は総合学科。学区が無く全県区。紫波町の生徒は30%以下。しかし生徒たちには地域に貢献してもらっている。いろんな行事、夏まつりや消防団のラップ隊などボランティア活動に参加してもらっている。紫波町と矢巾町と連携しながら活性化を図っていきたい。

質問・提言

町内に文化ホールが必要。(田園ホールまで行って活動している。)

回答 企画課長

ホールについては、人口が減るということは税収が減ること、維持管理費をどうするか。新築するのは難しいと考えている。

回答 教育長

逆に矢巾はスポーツ施設が無く、紫波町の施設を使っている。

質問・提言

熊出没について。今日、古館小学校の子が集団下校した。学校に通う子供たちは分かっているが、住民に知らされていない。高齢者など家に居る方が知らない。住民に知らせて歩く広報活動をしてほしい。

回答環境課長

目撃件数は例年どおりであるが、住宅地に近い場所での目撃が今年の特徴。

11日に中央保育所付近の目撃情報。14日に古館地区。広報車による広報活動はしている。知らせる手段をどうしたらいいか、広報体制の強化を検討している。

【町長総括】

- ・平成28年度は約136億の予算を組んでいる。何を優先順位にするか、命を守るか、文化を守るか。命を守るほうが優先される。しかしながら、莫大な費用がかかるもの。
- ・田園ホールの使用料が高いのは維持費がかかるから。紫波町には大きなホールはいらないと考えている。盛岡広域で共同利用できるものは共同でという動きもある。毎日人が利用する場所を優先としたい。
- ・紫波インターチェンジ付近の土地の活用。農地の転用について国には働きかけている。
- ・採択された請願路線で未実施は100件以上ある。なかなか整備できない。優先順位は命を守るほうから。
- ・すぐやれることは、取り組んでいきたい。

まちづくり座談会～赤石公民館～

- ◆日時 2016年6月16日（木）午後7時～9時
- ◆場所 赤石公民館
- ◆参加人数 38人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、長寿健康課長、商工観光課長、土木課長、総務課長、企画課長、国体推進課長、こども課長、総務課職員1人、企画課職員4人

質問・提言

昭和45年の人口は何人か。

回答

総合政策室長

2万9459人です。

質問・提言

さっきの数字と違う。グラフも違うのでは？

回答

総合政策室長

失礼しました。2万6459人でした。

質問・提言

防災マップの避難所と避難場所の違いはなにか。東日本（大震災）のとき、違いが分からなくて迷った。

回答

消防防災室長

避難所は、家に戻れない状況が続くときに過ごす場所。避難場所は、一時的に避難する、集まる場所（空き地など）。

質問・提言

ビジョンの計画、具体的な取り組みの実施計画があるのか、ないのか、なければいつできるのか、いつ発表になるのか？

回答

総合政策室長

総合戦略の中身は、各地区公民館やHPで見られる。それぞれのプロジェクトの概要、目的、こういった取り組みで行うというイメージと一緒に工程も載せている。例えば子育てプロジェクトでは、妊産婦の健康管理（H26年以前から）は具体的にはH27年度～H31年度の5カ年で集中して取り組むことになっている。幼児教育保育共通プログラム策定は、新たに取り組む。H28年度からスタート。など、

項目ごとに工程を定めて、具体的にはそれぞれ予算化しながら、進めていく。

質問・提言

単年度ごとの計画はないのか？

回答総合政策室長

単年度ごとにはない。

質問・提言

防災マップ、北上川流域において 100 年に一度程度降ると予想される大雨を想定して作られたものだが、実際のところ、H14 年、H19 年と大雨が降り、大きな災害を受けた。先般は西側の大洪水。梁川堤防も整備され、盛岡西南区域など上流部が整備されていくと、北上川に水が集中してくるのでは？住民に危険区域として周知させるとともに、町として、県や国に災害を受けないように築堤工事や施設の改善の要望を伝えていかなければいけないと思う。

回答企画総務部長

今年度、国の指示で北上川上流域の市町村長がメンバーになり、減災対策会議が発足した。5 年間でハード、ソフト、両面で減災対策を行うもの。初年度は取水期を迎える 7 月以降に年度初めの具体策が示される。岩手町～一関市までの流域の市町村長で構成される対策協議会。県と国交省も入って連携して対策を講じていく。

回答土木課長

甘木地区では今年度、築堤工事、揚水機場、山吹川の付け替え工事が行われ、ほぼ完了に近づいている。赤石地区では、浸水被害に及んだ家屋を対象に補償が進められているが、事業所が多いので、用地補償の完了は平成 30 年代中盤と言われている。紫波南大橋～し尿処理場の区間については、用地補償が終了後、甘木について工事に入りたいとされている。堤防が造られても北上川の水位が上がった時点で水門が閉められ内水が溜まるため、平沢川の内水対策を国に要望している。内水対策は支川管理を行う町が行うべきとされているが、負担が大きいため国が内水予測の調査を行うことにしている。事業促進のための予算獲得については要望を継続していく。

< 自由討議 >

質問・提言

人口減少が心配だ。公共施設（道路を含め）が老朽化している。道路の維持管理のほか今後 10 年後の財政状況も含め、取り組みがどうあるべきか。

回答土木課長

道路の舗装も傷んでいて計画的に直していきたいが、事業補助を受けている公共施設の整備維持管理は、総合戦略の事業の対象にならない。老朽化施設の修繕は、一般財源だ

けでは難しく、国の交付金と地方債を財源に進めていく。国の交付金は、集中的に財政支援するとしている橋の補修、通学路の安全対策に対しても要望額の5割程度と厳しい状況にあるが、舗装の修繕についても、老朽化の調査結果（ヒビ割れ、平坦性が悪いなど）をもとに国に要望し取り組んでいく。

回答企画課長

財政課長が出席していないので分かる範囲でお応えする。国からの市町村に対する財政調整は、今は過渡期と認識している。紫波町は合併していないため、地方交付税の特例がないので大きな変化はなく推移する見込み。ただし、全体としては減っていく方向であり、税収に影響されるので一概には言えない。紫波町民1人当たり歳出39万円（25年決算）、42万円（26年決算、増えたのは災害復旧のため）、合併市町村で同じような人口規模でも66万円（25年決算）というところもある。市町村間でかかる費用が違う。本町の場合はH25大雨災害で30億円ほど災害復旧費がかかっており、H27年度の決算はかなり厳しいものになりそうである。また、扶助費はH15年を1としてH26年は2.54倍に増え、維持補修費は1.6倍に増えている。一方で、建設費は0.59と6割程度。財源をやりくりしながら運営している。人口が減ると税収が減るので、公共施設管理計画を策定し、公共施設をどのように管理していくか今年度から検討していく。

質問・提言

紫波町には歴史的遺産がたくさん存在している。陣ヶ岡について、盛岡大学の熊谷教授も国の指定を受けるべきだと仰っている。町としてどう考えているか。

回答教育長

陣ヶ岡の件、認識はしている。限られた予算の中で、スケジュールはまだ組み立てられていない。文化財調査委員会に指摘があったこと、学術的調査も含めどうあるべきか話していきたい。施設の有効利用など、検討していきたい。

< 休憩後 >

質問・提言

4月の紫波ネットについて。町債、H22～H28で約30%増加した理由は何か？

回答企画課長

ここ3年間はH25年の災害復旧の部分が大きかった。オガールの関係や老朽化した学校施設の改修、震災関係で農業施設の事業などによって増加した。

質問・提言

基金が減り、町債が増加している。町債には債務負担行為が入っていないとある。債務負担行為とは、当年度に支払うものが次年度に繰り越している部分か？国からの補助金

が遅れているのか？工事するもの対価が遅れているのか、町が支払猶予しているものなのか？どういう性格のものか教えていただきたい。

回答企画課長

基金の減少は、災害復旧の際、国からの補助や借金だけではなく、町の持ち出しもかなりあった。ここ数年は福祉関係の制度改正のための財政調整もあった。（子ども子育て制度、介護制度など。）先般の議会の財政課長答弁では、今現在、財政調整基金 8 億とのことであった。

債務負担行為は、役場の会計は単年度だが、複数年かかる事業の時に債務負担行為という形で複数年の予算を確保することである。

質問・提言

町債比率がどうなっているか。23→18に落ちると、町債独自に発行できる。16あたりで町が財産を作った。最近では負債が増加している。なぜか？

回答企画課長

実質公債比率は、H26 年度決算 11.8。今後は庁舎の債務負担が入り、若干増える見込み。

質問・提言

今年度、土木課に工事をお願いしてる箇所があり、まちづくりの一環として年間 50 万円くらいの予算を持っているので、それを充当して改良すればいいのではと言われたが、今年度はそれがなくなると 4 月以降に言われた。なぜか？

回答土木課長

ふるさとのみちづくり事業は、町道認定していても幅が狭いなど不便・危険な箇所を改善するため、町は資材費などを補助し、労務は地元の方で負担するなど協働で事業すること。H25 の災害復旧を急ぐため、H27 年度は取りやめたが、H28 年度は事業を行うことにしている。行政区長には 6 月末を申請期限にご案内している。

質問・提言

総合戦略、歴史文化に関する戦略は相当大きな構想を練らないと難しいのでは？文化戦略に関連して、これほどたくさんの歴史遺産があるにもかかわらず整理統合するものはないのか？早急に組み立てる必要があるのではないか？文化会館、博物館を兼ねた文化活動の拠点となるものが必要。ひづめ館懇話会、紫波郷土研究会などでまとめることが必要だと思うが、構想はあるのか？

回答教育長

文化財行政、構想は 0 ではない。中長期で施設をどうするか？新しいものを作れないのであれば、どこかを改修するとか、施設をどうあるべきか議論はしている。中央公民館の一室に展示してはいるが、博物館、先人記念館、埋蔵文化財センターのような施設は

必要だと認識している。

質問・提言

言葉について。小中学校では言葉の使い方、きちんとしていて良い。紫波ネットや公的機関が言葉を使う場合は私的な場で使うのとは違う。オガール、オガールプラザ、オガールプロジェクトなど、日本語を乱すような言葉を使うべきではない。

回答企画課長

オガールプロジェクトは、にぎわいを起こし、地域経済をまわしていく、という大きな目的がある。正式名称は紫波中央駅前都市開発事業だが、日本語のままではなじみにくいので、プロジェクト全体の愛称としてオガールプロジェクトとしている。オガールプラザは民間施設であり、その中にある公共施設は紫波町情報交流館、紫波町図書館である。公共施設そのものは漢字表記している。親しみやすく、ということで愛称をつけている。

質問・提言

社人研の推計で、50年間で41%の人口が減るとするのは国の対策事業などをしても減るとのことか？町の推計で19%減少（町独自）というのも、町のプロジェクトを実施しても減るとのことか？

回答総合政策室長

ビジョンとは展望、夢。国で示したものを使っている。

社人研の推計は、対策を講じた上での数字ではない。これまでの推移から、政策とは別に推計しているもの。町では、各世代のバランスがとれないと、人口減少は加速化していくだろうという考え。プロジェクトを実施しても、H72年の27,000人は厳しいと認識している。

実際のところ、社人研の推計と町の推計との、間（真ん中）の数字で推移していくのではないかと推測している。

質問・提言

総合戦略、8つのプロジェクトを掲げているが、国からの補助金がどの程度導入できるのか？

回答総合政策室長

昨年は先行型の事業を実施している。国の方で地方創生推進交付金が新たに作られ、市町村は2億円を上限として、2事業まで対応できることになった。複数年度にわたって実施されるので、事業の精度を高め獲得できるようにしていきたい。

回答企画課長

国との話の中できびしい状況であるが、何とか財源を確保したいと考えている。地方創

生の計画があるから予算が来ると言うことではない。具体的な事業、スケジュールがないと予算はもらえない。

国としての人口ビジョンについては、既に若い人口が少ない状況であり、将来人口が減ることはある程度決まっている。地方創生は、日本全体で人口問題を考えるきっかけとなった。自治体間での人の動きよりも、みんなで人口問題に対処していかなければならないものと認識している。

質問・提言

今回のような意見を吸い上げてくれるような座談会を、今後もお願いしたい。

子育て支援について。400万円以下の年収8割（県内）。月10万で子供3人子育てできるか？なんとか救済して欲しい。

18歳選挙権について。政治用語、行政用語多すぎ。18歳有権者に分かりやすい語句、理解しやすい情報提供をお願いしたい。

公共施設について。立派すぎ。質素でよい。

質問・提言

時間が足りないのでアンケート書きたいが、意見は届くのか？

回答 企画課長

届けます。

質問・提言

総合戦略の7番、リノベーションまちづくりについて。調査しているようだが、何か成果はあったのか？

回答 企画課長

H27年度、日詰商店街エリアの空き家、空き店舗の調査し、十数件（16件）の貸し手のリストを作成した。また、リノベーションまちづくりを商店街の方に理解していただくために説明に歩いた。

旧庁舎の利用については、3回目の調査で低強度コンクリートの部分が出てきた。議場は上から下まで柱が通っていないため、構造上問題がある。耐震補強はできるが、費用がかかるので、賃料が高くなり借り手がなくなる可能性がある。今年は建物がない状態で土地の利用の可能性を調査する。H28年度のリノベーションまちづくりは起業する人の発掘や人材育成のための事業などをしたい。

【町長総括】

- ・財政は毎年大変である。命に関わるものを優先する。扶助費も上がってきている。建設部門に使える予算が減ってきている。

- 日本の大きな災害が連続して起きているためか（熊本、茨城、広島土砂災害など）予算が回ってこない状況であるが、引き続き要望していく。
- 若い人たちの子育てが大変なのは承知している。給食費の滞納、保育料、こどもの家の月謝滞納。介護、国保の税金も滞納が多い状況である。
- 児童の医療費助成は拡大した。人口減少に対応するのであれば、子育て支援の部分は国がやるべきものだと思うので、要望していきたい。
- 文化・教育面。歴史的なものを展示する場所も必要である。どうやって（財政の）バランスをとっていくか、検討していきたい。
- 町民の切実な声に応えていきたい。行政の施設は質素でいいと認識している。

まちづくり座談会～彦部公民館～

◆日時 2016年6月17日（金）午後7時～9時

◆場所 彦部公民館

◆参加人数 29人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、農林課長、土木課長、
都市計画課長、企画総務部長、企画課長、財政課長、教育部長、
国体推進課長、総務課職員1人、企画課職員4人

質問・提言

防災マップについて。土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域レッドゾーンがあるが、マップには表示されていないと捉えていいのか。マップはイエローゾーンを表示している。

回答

マップに表示されているのはイエローゾーンで、土砂災害の可能性のある地域を広範囲に記載しており、レッドゾーンはさらに詳細な場所になるので記載されていない。

質問・提言

実際は（レッドゾーンの場所は）あるのか？

回答

あります。

質問・提言

人口ビジョンと総合戦略について。古館地区の亡くなる方の割合が多い気がする。40年前のニュータウンで住み始めた人たちなのか。矢巾町と都市開発の協議はあるか？

回答都市計画課長

都市計画については、盛岡広域でマスタープランを作成している。つながりは、とくに綿密なものはないが、バランス、アクセスなど、個別に協議しながら進めていっている。川が境になっているので、アクセスの難しい部分もある。医大がくると、医療機関が近くなるので、利便性が上がり増えてくる可能性もある。

回答企画課長

古館地区の人口ピークは平成17年、今で8400人ぐらい、平成27年で7400人と予測している。

質問・提言

人口のこと。紫波町には人口の減少はあまり見られないH25年はH22年より増えている。

H72 も増えている。どうやって計算しているのか？

回答総合政策室長

ここ数年、転出よりも転入の方が多い、そういう状況が続き、合計特殊出生率が上昇すると仮定した場合に、人口はあまり減らない。持続可能な状態として、各世代のバランスがとれた姿になるための、設定条件であり目標値である。

質問・提言

100年後には岩手の人口が120万人～130万人から20万人くらいになると副知事が仰っていた。紫波はがんばっていると思う。引っ越してきて2年くらいだが、とてもいい、ステキな町。このステキな町をPRできないのか？若い人が増えているのであれば、紫波に魅力を感じているからかなと思っている。

回答総合政策室長

これは推計で、増えているという実態ではない。紫波はまだいい方。H27年国勢調査速報値では、人口は滝沢市3%、北上市0.5%、矢巾町1.8%の伸び、盛岡市0.2%、紫波町2.0%の減である。大槌町は33.2%減なので、紫波町は減ってはいるが留まっている状態。

質問・提言

河東地区～日詰駅に送迎している人が多い。赤石小学校付近、朝晩危ない。日詰駅前の十字路と赤石小学校まで、朝は左側通行、帰りは右側通行とのことで、歩道ができたのはいいが、その十字路から新幹線までが危ない。1年位前に測量の旗が立ったが、整備する計画はあるのか？

回答土木課長

国道4号に右折レーンを設置する計画があり、県道側には歩道設置の計画がある。H24年度に通学路緊急合同点検があり、小学校9学区で50箇所ほど対策が必要とされたが、そのうちの1箇所。日詰駅に向かって右側に歩道を設置する計画で幅2.5m、300mほど。県交通から東側については、南側にも歩行空間を設ける計画。今年度用地調査し、次年度に用地取得、可能であればH29年度に一部工事着手もあるとのこと。併せて、国道4号交差点東側の町道にも、マックスバリュー、深沢自動車入口付近まで右折レーンを設置する計画がある。

質問・提言

小学校の統廃合について。子供のためにも大勢の中で過ごしたほうが忍耐力があるのでと思うが、統廃合についてどうか？

回答教育長

2700人（昨年2800人）、平成元年は3800人。1000人減っている。5年後には彦部は

32人、星山25人になる予定。統廃合にはいたっていない。学校教育審議会では、全体的に学校教育について2年計画で考えていく。児童数が多いほうが忍耐力が付くというのは、審議会からも出ている。資質、能力、学力、体力、気持ちなど、小中学校時代に培うべきであり、あと1年かけて、実現するにはどうしたらよいかを検討していく。7月1日と7日に、オガールで子どもの育ち方を考え話し合う会を設ける。時間をかけて丁寧に進めていきたい。

回答町長

学校の地域で果たしてきた役割を失わないように、検討していきたい。

< 休憩後 >

質問・提言 (意見)

南部酒屋唄全国大会、参加者が増えている。城山のさくら祭り、来場者増えている。町のイベント、結びつけてやってはどうか？

回答 (総括で)

質問・提言 (意見)

学校について。統廃合するにも、町民に意見を聞いて、地域でもどうするか。東和町が1つに統合したときの話などを参考にしたり、人口減少や財政にも関わるので、考えていただければと思う。

回答 (総括で)

質問・提言

人口を増やすために、住民はどのようにすればよいのか、目標を高く掲げ、みんなで努力していかなければならないと思う。企業誘致など。紫波町が消滅しないために！

回答総合政策室長

合計特殊出生率、昭和59年ころは2.16だったが、H25年は1.39まで下がっている。増やすためには、外から移り住んでもらうしかない。全国的にも1.43。上げるために国でも一億総活躍社会を目指している。H42年に1.8になるようにと、高めの目標を設定。

回答企画課長

既に子どもたちの数が少ない状況で20年後の日本の人口はほぼ減ることが確実視されている。我が国は概ね日本人だけなので、大きくは変わらないが、自治体の場合は、国内で人が行き来するので少し変動する。交流したり、働く場所を作ったり、住みやすい場所にしたり、幸せに暮らせる町にしていかなければならない。地方創生が、考えるきっかけになったのではないかな。

質問・提言

人口問題について。遠野市長の講話がとても良かった。少なくなるのはどこもそうだが、プラス思考に考えているのがとても元気になれた。お招きして講話を聞く場を設けるのはいかがか？

回答 総合政策室長

そういう場があってもいいと思う。人口減少の構造の問題、各世代に渡って活躍できる、一人ひとりの活力があふれる町になるといい。少ないながらも元気な町を作っていきたい。

回答 企画課長

27000 人の町、矢巾より少し少ないぐらい。あまり暗くならず自分たちで自分のまちをよくするために考えていくことが必要ではないか。

質問・提言

空き家の調査（昨年）、うちの周りにも空き家がある。今住める空き家はなんとかして活用できるようにしてほしい。年毎に古くなっていく。

回答 都市計画課長

昨年度末、区長さんにご協力いただいて、空き家の場所を教えていただいた。彦部地区は 33 箇所。H26 年度、総務課アンケートでは 24 箇所。現在教えていただいた 33 箇所の空き家については所有者の確認を行っている。税などの情報を使い、所有者の特定をする。ただ、あくまでも個人財産なので、意向調査をして、譲渡や貸借を考えている方がいれば、つなげていくシステム（空家バンク等）を構築できればと思う。

質問・提言

空き家の所有者、他市町村に住んでいたりすると、現状をよく見ず、近隣の住民に管理をお願いし放置している。安全や衛生面から役場からも指導してもらいたい。

回答 都市計画課

役場で所有者に指導すべきことだが、個人の財産であることから役場側から短絡的に賃貸しては？とは言えない。6/27～区長さんから教えていただいた空き家の調査に入る。個々に調査して資料につなげる。広報にお知らせで載せる。役場職員が 2 人組で空き家の調査に出向く。

質問・提言

彦部地区の堤防計画について。

回答 土木課長

進展はない。甘木堤防が完成すれば、今度は対岸に被害が及ぶのではないかとの懸念があり、昨年、彦部地区については、甘木地区と一体の整備をお願いしたいと要望活

動をしている。紫波町内では、甘木地区（南日詰地内）と並行して紫波地区（桜町地内）にも事業着手しているということで、両地区に目処が立たないと難しいと考えられる。北上川流域の被害の状況によっては整備年度が変わるとされ見通しは厳しいが、今後も要望は強く推し進めていきたい。

質問・提言

TPP について。町の輸出入についての考えは？

回答農林課長

紫波町では検討していない。農協では全農を通じてリンゴを東南アジア（タイ）に輸出販売。1個 200円くらいで販売、好評なようだ。肉牛の関係、岩手牛を昨年からアメリカと東南アジアに PR 活動を始めている。

回答企画課長

農業分野ではないが、町内で海外に出してみたいという人はいる。

質問・提言

前の火葬場から彦部小学校の道路、下水工事したあと、除雪機がマンホールにぶつかる。舗装しなおしてほしい。

回答土木課長

町内には、道路が老朽化している箇所が多複数あり、星山地区では、ご指摘の箇所が著しい状態だということは把握している。下水（農業集落排水）工事をした部分で、用水路の脇で沈下が大きいため、用水路から水が差していることが原因ではないかと考えている。舗装の下がり著しい箇所から補修することで、今年から部分的に手を加えていきたい。

質問・提言

運動公園は紫波町で管理しているものか？プールを作ることはできるのか？1年中泳げる施設ほしい。

回答教育長

ラフランスは費用のわりに利用者が少ないので縮小している。費用対効果を考え、新しいプールを作るのは難しい。

質問・提言

企業誘致。紫波インター付近の農地、規制緩和の規制とはなにか？

回答副町長

農水省関係の補助事業が入っている農地について、ある一定の期間を置かないと農地以外に利用することが出来ない。農業振興法と農地法に縛られている。それを外すために

手続きしている。来年当りに方向先が見えてくると思う。

質問・提言

答弁できないのは持ち帰ってとあったが、広報等に載るのか？昨年質問したことも、持ち帰りだったが、広報にも載らず、直接答えが返ってきたわけでもなく、どうなったのか？

回答企画課長

全て返答したと思っていたが、申し訳ありませんでした。確認させていただく。

質問・提言

防災マップについて。国土交通省の北上川上流減災対策説明会に、消防防災室、土木課、建設課、日詰7区、彦部9区、彦部10区の区長、消防団が呼ばれているが、マップを見るとそれ以外の区にも被害が及ぶようだが、立会いさせる必要があるのでは？今年から行政区長以外にも参加可になって良いと思うが、資料等の準備、参加の周知をお願いしたい。

回答副町長

貴重なご意見、頂戴します。

質問・提言

古い消防署は壊すのか？残すのか？解体するなら、予算を確保しておいた方が良いのでは？

回答副町長

移転の際の思いは同じなので、参考にさせていただく。

【町長総括】

- ・人口減少は日本全体の問題である。紫波町だけどんどん増えるという状況にはない。岩手県33市町村、14市、19町村。14ある市でも紫波町より人口少ないところもある。町村では紫波町が人口が一番多い。JRと国道4号の間の住宅開発はすぐに売れる。若い世代が住み始めている。西部と東部の農村地帯の高齢化が問題である。3世代同居の良さもあると思う。
- ・矢巾町との境にあつては、国道4号を利用しないで岩手医大の周辺に接続する道路が出来るといい。
- ・紫波インターチェンジ付近の土地、農地の規制を外すために手続きしている。企業からの引き合いもある。若い人たちの仕事があつて、安心して子育てが出来る、教育、医療もだんだん整いつつあると思う。

- 町長となって指示してあるのは、
 - ①消防署の件、警察署も古いので、建て直して整備したい。
 - ②古館駅前の整備、医大が来れば矢巾の次、(紫波)中央駅より近い、駅付近も住宅用地として利用価値があるので整備を進めていきたい。
 - ③D街区の貸し出し。
 - ④学校教育の問題、複式学級でよいのか、早急に整備するよう教育長へ。
の4つである。
- 防災の件、彦部の築堤など非常に時間がかかるものと認識している。

まちづくり座談会～赤沢公民館～

- ◆日時 2016年6月18日(土) 午前10時～12時
- ◆場所 赤沢公民館
- ◆参加人数 25人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、長寿健康課長、環境課長、建設部長、総務課長、企画課長、生涯学習課長、こども課長、企画課職員2人

質問・提言

周りを見ても、年寄りばかり。赤沢では、どのように考えるべきか？

回答 総合計画室長

計画は町全体が対象であり、プロジェクトは様々ある。

Project2「めぐって学んで五感で味わう紫波探訪プロジェクト～交流・体験・実践～」では、都会から農業体験などで移住定住の促進を図ろうとするもの。

回答 企画課長

3月に赤沢地区でコミュニティビジネスの講習会を行った。

地域の拠点づくりの勉強会から始めていければ、と思っている。

質問・提言

ドクターヘリのヘリポートは、あらかじめ場所が決まっているか？

回答 消防防災室長

町では、以前は彦部小、紫波一中であったが、町内の全小学校と、一中、二中として
いる。

質問・提言

自然が豊富でめずらしい生き物が多い赤沢、それを売りに町おこしが出来るかもしれないので無駄な狩猟を避けてほしい。

回答 環境課長

クマの件、今年が多い。20～30%増。特に岩手県は多いが、紫波町は昨年とあまり変わらない。住宅地(古館)、紫波中央自動車学校付近、人家に近いところに出没。対応、これといった手立てがない。とにかく音を出し、人がいることをクマに知らせる。これを徹底してもらおう。県の許可がないとクマを狩れない。銃を持っていても追い返すためのもの。

狩猟の件、禁猟区を設けている。保護区をどのくらい設定していくか、4月～10月は禁猟期間、11月～3月は猟ができる。鳥など減ってきているようだが、保護員と県と

協議して保護区の範囲を検討していきたい。

質問・提言

狩猟期間が11月15日～だが、その時期まだリンゴの後始末などがあり、時期がかぶる。県外のハンターが知らずにリンゴ畑近くにいたこともあり、不安に思う。

クマの行動範囲が広いため、目撃数と実際の頭数は一致しないと思う。

回答環境課長

狩猟期間中の農作業の件、県内の猟友会に申し入れはできるが、県外のハンターの対応は難しい。猟友会を通して、周知することを検討する。

クマの件、目撃件数とは違うと思う。出来る限りの対応をしていきたいと思う。

質問・提言

人口減少について。小学校のあり方、どのような方針でやっていくのか？

回答教育長

町全体で、H元年3800～3900人いたが、H28年2800人と1100人減っている。

学校教育審議会を設置、将来どういう力があれば生きていけるか、学力、体力、忍耐力、協力する力など、検討している。

はじめに（一次諮問）、子ども達が将来のために備えるべき知識、能力、力を共通理解していきたい。次に（二次諮問）、具体的にどうするか、子どもたちにとってどういう環境がいいか、子ども達が暮らす将来を見据えながら検討していく。

7月に「今後の教育のあり方を考える会」を開催し、皆さんの意見を伺う。

< 休憩後 >

質問・提言

農業をやるとしてもお金がないと出来ない。果樹、実が出来るまで生きているか……。新規就農者、野菜、果樹などお金がかかる農業。東部地区はいっぱい山があるが活用されていない。松くい虫の被害。業者にはお金が入るかもしれないが、地権者に対してはどうか。

土日だけ契約できのこ取りしている。1000キロくらい取れる場所。経費のかからない産業で死んでいる山を活かしたい。行政の力を借りてどうにかしたい。

回答総合政策室長

山の活用について。地方創生では稼ぐ力の確保がテーマになっている。役場で補助を出して、何かイベントをやって終わりではなく、生活している方々が自立して経済が回っていくような社会を作っていきたい。地域にある資源を活用して、自立して経済が回るような社会や仕組みを小さいながらも作っていくことが必要。様々な資源を活用して、

事業を展開していくため、勉強会の機会を設けたい。具体的にはこれから。話し合いをしながら進めていきたい。

回答企画課長

ローカル経済、特産品の取り組みなど、一人だと難しいもの。仲間作りが必要であると考えます。町としては、様々な思いを持つ人々をつなぐ、仲間づくりの手伝いも行っていきます。

質問・提言

空き家調査後、すぐ使える空き家の利用のあっせんなどはしているのか？

回答建設部長

昨年は、この座談会において、岩手県の空き家率は 13.8%に比べて、紫波町は空き家率が低いほう（6.9%）なので積極的には取り組まないとお話したが、その後議会でも空き家対策に関心が高く話題になった。空き家は紫波町内に 470 戸あると推定していたが、実際に区長さんに聞き取り調査したところ 440 戸あることがわかった。

現在、関係各課と、これらの空き家について所有者の確定や今後の方針、有効活用の手段について検討を始めている。結果が出るまで、3 年くらい状況をみていて欲しい。

質問・提言

消防演習の件、演習の負担が大きい。高齢化、少子化で、役員を何度もやらなくてはならない。地域のためになる、交流も生まれるのはわかっているが、身体的事情、家庭的事情、時間の短縮や、毎年ではなく隔年にするとか、負担を減らしていただきたい。

回答消防防災室長

消防演習、支援活動について。消防団の現役の方と、地域の方との話を合わせながら進めて参りたい。地域のためになる、地域の交流にもなっていることを踏まえ、関係者と軽減にむけた話し合いをして行きたい。

回答総務課長

婦人消防協力隊への意見として受けた。今年は消防演習の時間を短縮して行った。長時間立ってられない場合は途中で抜けることも可としているが、なかなか抜けれないだろう。今後改善すべきところを改善して、消防署の訓練の一環なので、話し合いをしながら進めていきたい。

回答企画課長

H26 年度、地域自治組織の調査をおこなった。人口が減ってきている中での役員は負担が大きいと考えているところが多い。やり方を考えなければいけない時期に来ていると認識している。

質問・提言

公民連携によるまちづくり、オガールプロジェクトが公民連携と感じていた。赤沢地区の公民連携とは何か？総合戦略8つは良いと思うが、私たちが進めていく上での窓口はどこになるのか（役場？公民館？行政区長？）明確にしていなければ進めやすいのでは？

回答企画課長

中央駅前には確かに公民連携だが、これは1つのパターン。民間経営手法を導入し、民間活力を使う方法。それは人、場所、お金といった資源を活用して地域の価値を最大化していくこと。方法はさまざまあるので相談して欲しい。

質問・提言

ローカル経済。田んぼや果樹の規模が小さくても融資を受けられるのか？（具体的な規模、数字などあれば、若い世代に継ぐときに参考になる）

回答総合政策室長

現時点では具体的な規模、数字等は決まっていない。これから検討していきたい。

回答総務課長（前農林課長）

地域の働く場所を確保するため、産地直売所や農業法人を設立し雇用を生み出すこともローカル経済である。その活動を活性化させるため、国も町も基準を定めて支援者を特定し融資などを行っている。基本的には、地域の産業、農業をこれからも支えていける意欲のある人が対象となる。

一例をあげると認定農業者制度を利用する場合は、年間450万円程度の農業所得を有していれば認定の対象となる可能性があり、認定を受ければ利用できる融資などもある。一人ひとりでは規模が小さく要件が該当しない場合は、融資の対象とならないが、集落営農や農業の法人化に取り組み、ある程度の生産規模と生産額を確保できれば、行政としても支援する事が可能である。個人で会社を設立し認定農業者に認定されている方もいる。

質問・提言

クマの件。けもの道マップも作っていただければ。昔からのことを知っている方がいるうちに、形に残しておきたい。赤沢は1区～8区、それぞれに山を持っている。それぞれ地域性もある。

回答

地元での集約に期待するも今後の参考とする。

質問・提言

婚活事業。仕事がない。一人暮らしの独身者も増えている。高齢者の支援も必要だが、若い人がここを基盤として生活できるよう支援も必要だ。

回答 総合政策室長

今回の総合戦略には明確に書いていない。町としても今まで明確にやってはいないが、勤労青少年ホームや商工会、農協でそれぞれの目的で支援がなされている。昨年から全県の「I-サポ」（“いきいき岩手”結婚サポートセンター）が立ち上げられた。（成婚1組あり）町だけではマッチングが困難であり、全県のもののほうが有効。町では女性、若者に選ばれる町になるよう、計画づくりにおいて重視している。

質問・提言

西部、東部、中央地区と状況は様々でも、同じ紫波町に生まれてきて、等しく教育を受ける権利がある。もっと自然を有効に活用できないか。中央部の子どもたちにも面倒みながら農業体験させたい。農業は頭を柔らかくする。

回答 教育長

世の中はどんどん変化していく。何を経験するべきか、応用力、生きる力、知識を獲得する力、学び取る力、人と相談しながら進める力など必要と捉えている。重要な指摘を頂いた。

【補足】 子どもたちが大人になるまでに、多くの経験をすることが必要です。農業などの社会体験や自然体験も重要であるため、機会を捉えて推進していきます。

質問・提言

今日の日程、どうやって決定したのか。農繁期に日中の設定は難しい。地区の人たちが集まっているところに（役場の方が）来るほうが、たくさん人がいて意見が聞けるのではないか？

回答 企画課長

日程設定についてご迷惑をおかけしました。来年以降、考えていきたい。順番に土日を割り当ててきたが、あらためて厳しいと認識した。

【町長総括】

- ・ 日程について、次年度から赤沢地区では日中ではなく夜に設定していきたい。
- ・ 人口減少、地方創生について。仕事がなければ戻ってきても働けないなど町の課題である。
- ・ 紫波インターチェンジ周辺では、企業が進出しやすいように整備進めていく。
- ・ 農業のあり方も様々である。認定農業者も認められれば融資を受けやすい。紫波町で一番外貨を稼ぐのは農業である。いろいろな売り方によって拡大できる部分である。町中で商売していてもそこでお金が回っているだけ。多角経営もひとつの手法。
- ・ 紫波町内の会社も求職者が来なくて困っている。給料の水準と、生活費のバランスも考

えていかなければならない。子ども自身が、東京に行って生活するのがいいのか、子どもを育てるのに環境が良いのか、生活しやすいか、安全なのか、よく考えて判断出来るように、子育てをすることが大切。高校生ぐらいまでに、考え判断できるようになるといいと思う。

- 人口増加には地道な努力が必要。紫波中央駅前の宅地開発は、他に比べて安いから来る。若い世代も住んでいる。紫波に育つ子どもたち、理解できるような教育が必要である。
- 猟友会に若い人も加入してきている。狩猟そのものを規制するのは出来ない。農作業時の危ないと思われる場所は広報活動をしていきたい。
- マツタケの件、岩泉では研究会があり、一大産業としてやっている。研究会を立ち上げる際はお手伝い出来ることがあると思うので、せっかく山があるので是非仲間を集めてやっていただきたい。
- クマの道マップも是非公民館で作っていただきたい。

まちづくり座談会～古館ふれあいホール～

- ◆日時 2016年6月18日（土）午後1時30分～3時
- ◆場所 古館ふれあいホール
- ◆参加人数 36人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、商工観光課長、建設部長、
土木課長、企画総務部長、総務課長、企画課長、財政課長、生涯学習課長、総務課職員1人、企画課職員 2人

質問・提言

東根山の花巻断層、想定震度はどのくらいか？

回答総務課長

県の発表は、マグニチュード6～7を想定、深さによっても変わるので想定しづらい。おおむね300年～1000年に1度と想定しているので、発生確率はおおむね0に近いのではないかとの見解。県南地震はこの南端に当たるところなので、日頃の準備は必要。

【補足】断層の活動間隔は、4000年以上と考えられており、今後300年間で地震が発生する確率はほぼ0といわれています。また、地震が発生した場合、マグニチュード7.4程度の規模が想定されています。ただし、花巻断層帯の今後の活動について、明確な判断はできないといわれています。

質問・提言

日詰駅前、紫波中央駅前に続き、今回古館駅前整備するとあるが、具体的に教えてほしい。

回答建設部長

昭和45年度以降、古館地区は住宅地をメインに開発されたが、駅前が取り残された状態となっている。総合計画の中でも古館駅前の開発に取り組まなければならないとしている。町内にある他の二つの駅前と異なり、個人から用地を協力いただいて整備していく考えである。国道4号（ローソン）のところから駅まで約1.4kmの県道があるが、バスが駅前に入って回って出て行けるように、送り迎えの車も入れるように駅前広場のロータリー整備を考えている。県では今後、両側の歩道の整備は無理とのことであるが、地元のご協力もいただき落合橋近辺までは片側の歩道が繋がっている。駅まで約70mのところの県道への歩道設置について、県に働きかけを行っていきたいと考えている。駅前広場の整備については、地元の有識者の方々と相談しながら進めていきたい。

質問・提言

ふれあいホールが避難場所になっているが、飲料水がない。

回答総務課長

水道が断水で止まった場合、備蓄から非難している方々に提供することになる。民間企業から備蓄の提供を受けることも計画している。

質問・提言

古館公民館～ふれあいホールの渡り廊下、一番端が雨漏りする。

回答生涯学習課長

こちらでも確認している。一度手直し工事を行ったが、しっかり直っていないので、施工業者に再度手直し工事を依頼するところ。

質問・提言

古館駅乗降客数を教えてほしい。(日詰駅、紫波中央駅も)

回答建設部長

6月1日の交通動態調査の結果が手元にあるので、お話ししたい。古館駅 1298人(▲57人)、中央駅 2895人(▲100人)、日詰駅 881人(+22人)。全体的に減少傾向にある。

質問・提言

非常事態が起きた場合、役場から避難所になっている古館公民館まで来るときの避難経路、どう考えているのか？水害で道路が寸断された時、物資の輸送経路は？公民館や古館小学校等の敷地に高床式の倉庫を作って備蓄しておいた方が良いのでは。役場が早急に対応できないときのため。

回答総務課長

役場から紫波総合高校のこ線橋を越えて公民館へ、というルートになると思う。高い場所から順々に回っていく。想定を上回る場合、一時的に避難している方にはお待ちいただいて、状況が落ち着いた(水量が落ち着いた)ら物資輸送をすることになるだろう。そのために、防災計画の中で、各家庭で3日分程度の備蓄をお願いしている。状況の改善をみながら物資を輸送する、避難所開設と同時に物資を運び入れるという方法しか現時点で想定していない。

質問・提言

県道～駅前(4号～古館駅)スクールゾーンで朝晩混み合う、雨は特に。除雪はキレイにされている。が、落合橋～古館橋まで狭い。ここは除雪されない。

回答土木課長

町ではバス、スクールバスが走行する路線、交通量が多い路線を直営で行って、その他

の路線を 23 社に委託して除雪している。国道 4 号から古館駅までは県道で県が除雪をしている。古館駅から矢巾町境の古館橋まではその狭間で、直営の幹線道路を払う大きなグレーダーなどを向けると効率が悪いので委託している状況です。路線の見直しを図って、解消に向け検討したい。

質問・提言

下町 4 区は 2 度の水害に遭っている。来年防災についてお話したい。
今回は、水道料について。盛岡市の 4 倍。工事費がかかるためかもしれないが、25 年前に引っ越してきたが、住宅地で人口が増えてもまったく水道料が下がってこない。月に上下水道で 1 万以上。子育て世代には支出が大きすぎる。年間 12~3 万。盛岡だと 3 万くらい。住む要件として関わってくるのでは。将来の見通しを教えて欲しい。

回答建設部長

紫波町の上水道は H26 年度に、岩手中部水道企業団に統合している。花巻、北上の水道料金は、紫波町より高かった。水道企業団で料金を統一するようなので、今後若干高くなる可能性がある。詳しくは、昨年度まで水道企業団に出向していた者がここにいるので、説明を替わりたい。

回答生涯学習課長

企業団（水道事業）は独立採算制なので、H30 年まで段階的に上げていく予定。（基本料金は安くなり、使用量に応じて高くなるようになると思う。）整備にお金が掛かるので、盛岡市のように安くはならない。水道管自体を更新していくとき、地震災害に強いものに変えていくので、それ自体が高くなってきているので料金が安くなる見込みはない。

質問・提言

昔は、この地区は北上川の水、水分地区は水分の水を使っていた。山からの自然の水を使っても料金は一律なのか？

回答建設部長

水源、水道施設が違っていても料金は一律である。河東の簡易水道も料金はそろえている。

質問・提言

H26 年度、H27 年度、紫波町の地域づくり活動補助金で活動してきた。2 年間で終わりということで、今年は自分たちで活動できる範囲で、6 月 6 日からスタート。ボランティア団体で事故が起こり、補償が必要になった場合、どこ（誰）が責任を持つのか、どこに相談に行ったらいいのか。

回答企画課長

事故の責任は、直接的な原因者の責任、監督者の法的な責任が考えられる。

事故が起き、個人や団体が補償できない規模だった場合、怪我などされた人が十分な補填を受けられないケースも考えられる。町が、どこまでできるか、法的な整理する必要がある。町としては、事故を防ぐための研修会、また保険の勉強会をしたい。事故が起きた場合、団体や個人の責任は賠償を含め最後まで残る。市民活動の不安については、ケースバイケースなので、企画課協働広報室にご相談いただきたい。

< 休憩後 >

質問・提言

いつごろから部長制度ができたのか？矢巾町には部長制度はないと聞いている。

回答副町長

H18年から、10年ほどになっている。当時から横軸の連携が必要ということで、5部長制度にした。現在、3部長は課長を兼務している。矢巾は矢巾の考えで組織していると思う。

質問・提言

紫波町の陸上競技場、野球場。あまり整備がされていない。

回答教育長

紫波町は文化スポーツ施設を早くに建設した。経年劣化で整備が必要ということは認識している。限りある予算は命に関わる部分、災害復旧に多く回っている。計上はしていて少しずつ改修をしている。

質問・提言

ラフランス温泉館、補助金で作られた施設。住民のために作られた施設だから料金を安くする、住基カード提示すると安く入れた。住基カードは温泉のために作った方が多かった。今は回数券と変わらない。今の状態はどうか？

回答副町長

当時、ふるさと創生事業で1億のうち5000万円を投じて作った施設。紫波まちづくり企画との協議で、住基カードの普及を狙って料金を下げた歴史があり、町民の福利厚生のためという大前提があるので、いかにして町民の方へのサービスを向上させるかという点は時間をいただきたい。

質問・提言

10月に全国ゲートボール大会があり、先日の大会で紫波町は4位。全国大会へ行く。

質問・提言

古館駅周辺協議会、どのような計画で、進行状況はどうか、将来はどうか。
紫波町の1/4の住民を抱えている古館地区の古館駅をどう見ているのか。駅の営業も縮小
されサービスも低下している。利用客が少なくなったから？

回答建設部長

都市計画課と協議会と協議したのが駅前開発計画の発端である。協議会では古館地区で
アンケート調査を行い、400人程から回収したはずであるが、駅前ロータリー、街路灯の
整備、県道の歩道・町道の歩道の整備などの要望が多かった。全てを進めるには、どの
くらい事業費がかかるのかわからないので、町ではこれら事業の中からピックアップし、
駅前ロータリーの整備を最優先に考えている。地権者の了解を得るために、もうしばらく
時間をいただきたい。

JRのサービスの低下についてであるが、JRとの協議の場において、職員不足のため無
人駅が多くなっている、との説明を何度か受けている。サービス低下については、機会
を見ながらJRにも働きかけていきたい。

質問・提言

古館ニュータウンの中、高文自動車の跡地の利用は？見栄えが悪い。町から環境整備に
ついて働きかけてほしい。

回答副町長

高文と民間事業者と交渉中とのこと。

質問・提言

下水を用水路に流している人がいる。用水路の水を水田にも使うので、抵抗がある。

回答建設部長

指導していきたい。この後、具体的な場所を教えてください。

質問・提言

カヤの生育が激しい。火事の恐れも。

回答

農林課へ伝える。

質問・提言

小学校について。河東、長岡以外は複式学級だ。統合したほうがいいのでは？西側も同
様であろう。

回答教育長

少人数学校をどうするか。大規模校、少規模校、それぞれメリット、デメリットある。
昨年、学校教育審議会を設立。小学校時にどんな資質や能力（忍耐力、体力、学力、協

力する力)をつけるべきか検討している。子どもの未来のため、20年、30年先に活躍することを想定して、用意周到に進めていかなければならないと考えている。将来、今ある仕事の4割は無くなっている、姿をかえているのではとされている。H29年秋ごろに紫波町としての方針を出す予定。

質問・提言

観光産業について。城山公園をどう考えているのか？昨年から桜まつりをやっていない。とても残念、紫波町のシンボルとして紹介してきたのにイベントが無くなり悲しい。観光交流協会もあるが、行政の指導、助成で城山公園の桜まつりは紫波町全体のまつりとして取り上げていただきたい。

回答商工観光課長

桜まつりについて。町内のイベントは構成する団体（行政、商工会、観光交流協会など）でおおまかな方向性を決め、実行委員会で1年の方向性を決めている。過去10年振り返って、桜の開花とイベントが合わない、ぎりぎりまで様子を見ているが数日合わない。花のない時期にイベントを行うことが続き、イベントをやるのにお客さんがいない状態。費用対効果も考え今年も見送ることになった。今年はたくさん花が咲き、イベントの有無に関わらず国道4号にあふれるほどたくさんのお客さんが来た。このことから、イベント自体が集客に繋がっているか疑問もあり、お客さんはイベントではなく花を見に来ているという意見もある。ぜひイベントをとという意見もあり、ボランティアでご協力いただけるという方もいらっしゃるので、そういった方々の意見も踏まえて、今後どうするか検討していきたい。

質問・提言

旧保健センターには大きな駐車場がある。バスが停まれる。そういう施設で紫波町全体を紹介できるような施設がほしい。

回答商工観光課長

関係者と協議していきたい。

質問・提言

桜まつり、来年度は関係団体のほか、地元も加えて欲しい。地元ではいろいろな意見が出ている。（駐車料金を取り、誘導員を配置するなど。）より盛り上げていけるようにしたい。

回答商工観光課長

地区のボランティアの方々も加えながら、来年の方向を決めていきたい。

質問・提言

観光振興計画、庁舎内の各部課の連携が要るのに商工観光課任せの状態なので、連携して実践を図っていただきたい。盛り上げていきたい。

回答 商工観光課長

窓口は商工観光課だが、行政と観光協会等とで協議していきたい。

質問・提言

防災計画について。上町公民館では全地区を対象に訓練をした。実際訓練してみると、防災計画はあまり役に立たず、計画とは違う部分が多々ある。準備していただいたものが実際使ってみると不便だったということもあった。(無線機は距離が短すぎて使えない。リヤカーは気をつけないと使えない。) 町全体での防災訓練も必要と思う。お金をかけなくても出来る訓練、自主訓練を呼びかけるなど、力を入れていただきたい。

回答 消防防災室長

防災マップも使い勝手をお聞きしながら、実際に使えるものにしていきたい。自主防災組織にもつなげていきたい。

回答 副町長

防災計画は原則論が書いてあるもの。実践した際、食い違うことは当然ある。訓練したことでないと万一のとき実践できない事例もある。地域ごと、小規模でも訓練は必要。お金をかけなくても出来ること、積み上げていくことが大切。

質問・提言

中央保育所跡地はどうなるのか? 地元としても考えていきたい。

回答 副町長

建物が古いということ、場所等を認識しながら利用のあり方を検討していきたい。

質問・提言

ボランティアの事故対応、難しいと認識している。地区と役場と、一緒に考える機会を作っていただきたい。

回答 企画課長

個別の相談も受けていきたい。

ある市で山車引きでの死亡事故があった。市民が山車の団体で安全協議会を設立。そこで勉強会をしていると聞いている。何か課題かは実際に活動している人がよくわかっており、役所が主導しての改善は難しいと思う。活動の見直しは活動する人みんなが集まり話し合うことが重要と感じた。その集まりに役場も参加する形が良いのではないかな。

質問・提言

32年前、図書館、歴史資料館、博物館、文化ホールなど無かった。

それから自転車競技場、サッカー場、サンビレッジ、バレー施設できた。やっと図書館ができた。スポーツ施設が多く、文化施設が少ない。予算の使い方、バランスを取ってもらいたい。

回答教育長

ないがしろにしているわけではない。中央公民館のあり方もあわせ考えていく必要がある。埋蔵文化財や先人の顕彰など、文化、教養についても考えていく。役場の空き施設の利用も考えている。

質問・提言

旧庁舎はどうなるか？

回答企画課長

補強して使えないか、調査した。強度調査の際、低強度コンクリートの箇所があり、補強はできるがコストがかかることが判明した。コストを回収しようとする民間で借りる際の家賃が高くなる。

旧庁舎は壊すのに1億かかる。今年度は土地として、地域活性化に寄与する利用方法（借り手）を検討している。旧郡役所は、文化財なので壊すことはできないので土地利用と合わせて考えていかなければならない。

質問・提言

職員の応対について。最初から分かる人を出してほしい。時間のムダ。

回答副町長

率直にご指摘いただきたい。お客様の立場での対応を心がけたい。

質問・提言

空き家について。古館地区にもたくさんある。古館駅前の役場OB所有の空き家、大木があるが、倒れたら大変。認識しているはずなのに放置。

回答副町長

古館駅前ロータリーに関わる部分、所有者の方々と協議しながら進めていきたい。

質問・提言

中央保育所跡地について。地元と相談していききたいとあったが。

回答副町長

現時点で地元の方々と相談できるレベルではないので、持ち帰り検討する。建物の利用ができるか、利用するとすればどうなるか、その際に相談させていただくことになる。

【町長総括】

- ・ 部長制について。月に2回、急いで協議しなければならないものについて、5人くらいで意識統一するもの。今後も継続していく方針。
- ・ 2年前に就任したときに早急に対応するよう指示したもの。
 - ① 消防署移転
 - ② 古館駅前の整備 現在進行中。
 - ③ オガール D 街区の貸し出し。全国的に注目されている。人気、勢いがあるうちに利用を図りたい。
 - ④ 小学校の教育環境 教育審議会を立ち上げ対応していく。
- ・ 他地区でも文化ホール、文化財施設の話は出てきている。しかし予算は人命に関わる部分を優先している。
- ・ オガールエリアは町が土地を貸しているが、町の予算で行っているものは少ない。民間事業が大部分。今後説明（周知）が必要である。
- ・ 城山の桜まつり、県内でもスポットとなっているし、中国の方々もたくさん来ているので、観光資源として活かしていきたい。

まちづくり座談会～JA 志和支所～

- ◆日時 2016年6月20日（月）午後7時～9時
- ◆場所 JA 志和支所
- ◆参加人数 24人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、長寿健康課長、農林課長、建設部長、都市計画課長、総務課長、企画課長、教育部長、こども課長、農業委員会事務局長、企画課職員 5人

質問・提言

酒屋唄全国大会について。国道4号、中央駅などから会場まで昇り旗を設置したい。会場のたて看板ももう少し大きいものを作りたい。町の保存会に任せているが、町主導という形にしてもらいたい。

回答企画課長

担当へ申し伝えます。

質問・提言

総合戦略、1～8は優先順位なのか？項目の番号なのか？

回答総合政策室長

優先順位を表しているものではない。総合計画でも子どものことが重視されているので、各課に渡り規模が大きいものなので1番にきている。2～4番は人の流れに関する部分。5～6番は産業関係。7番は全体的な振興策。8番は役場の内部の仕事についてなので最後に置いている。グループで近い番号に置いているだけで、番号順にやっていくというものではない。

質問・提言

用語について。リノベーションまちづくり、アセットマネジメントは漢字表記した場合どのようなになるか？イメージしやすくなるため。

回答企画課長

リノベーション＝リフォーム＋イノベーション、造語。古くなった建物を改修すると同時に新しい事業を興す。持ち主と使う人が分かれてやること。
アセットマネジメント＝公共資産を、どのようにうまく管理活用していくかを意味している。

質問・提言

専門用語や横文字は使わないほうがいい。高齢化時代なので、分かりやすく優しい言葉を使うことが行政として必要だと思う。総合戦略が1番から8番まであるが、いつからスタートなのか？何年までにどういうことを実行するのか？H31年度が最終目標なのか？アクションプログラムを作ってほしい。詳細を具体的に知りたい。

回答総合政策室長

広報に載せたものなので、具体的には記載していないが、戦略の工程表は各公民館に配布していて閲覧できる。

質問・提言

公民館に置いてあっても見ない。こういう場で説明すればいいのでは？

回答長谷川室長

限りある時間の中で、一つ一つ説明するのは厳しい。追々、様々な機会にお知らせすることになる。

質問・提言

人口問題について。国、県、町が予想している人口減少、それぞれ数字は違うが減少している。行政としては、どうやってこの数字を推移させていくか、能動的に考えて欲しい。例として住宅開発、大学・短大誘致など、具体的に人口減少を止めるための対策を示したほうが町民には分かりやすいのでは？

回答総合政策室長

人口減少に対する取り組み、当面は8つのプロジェクトで進めていきたいと考えている。国の研究機関ではこういう傾斜をたどっていくと推測している。町では2060年以降も急激に減らないようにするため、各世代でバランスの取れた状態にしたい。理想を実現するために総合戦略をつくり、目標をたて、8つのプロジェクトで進めていきたい。

質問・提言

紫波町に移り住みたいという若い世代が、居住環境、生活環境はよいが教員の質があまりよくないのではという話があった。教育環境は、若い世代が子どもを生み育てるときに重要な部分になると思う。県教委で教員を配置する際、定年間近で紫波町に赴任させているように感じている。レベルの高い教育環境を作ってほしい。

回答教育長

教員は、沿岸部、県北、県南、中央部など、出身地ごとに教員の数が違うため、全県人事で配置している。中央部の出身教員は少なくとも5年は沿岸部で貢献するなどルールがある。6～8年で異動になる。いい教員は残すよう教育委員会でも努力している。また、採用人数が少なくなっている（子どもの数の減少により）。岩手県全体で、若い

教員が少なくなっており、教員の高齢化も進んでいる。高齢だから元気がないということではなく、使命を全うできるように校長、教育委員会を含めて活性化を進めていきたい。

教育環境を高めていくために、2年計画で学校教育審議会を設立。2期計画で、どんな資質、力、能力を持って紫波町を巣立っていけばいいのか、「子どもにつけるべき力」を検討している。9月ころ答申が出る。次の1年では、それを実現するためにどうすればいいか、スケジュールを定めて進めている。H29年度中盤あたりには全体像が見えてくると思う。

質問・提言

県人事のルールを打ち破るような計画が戦略に含まれているか？

回答 教育長

計画にはない。教員は県の教員として採用されているもの。人事権は県の教育委員会。紫波町で教員を雇えば出来るが、現時点では不可能。市町村雇用の視点もある。紫波町は盛岡地区に含まれるが、教員は一つの地区に最大18年いられる。人生設計と共に指導していく。

質問・提言

上平沢小学校が今年から複式学級になった。あと1人居ればならなくて済んだ。はじめから分かっているのに手を打たないのか？上平沢地区から外の学区に通っている子も居る。

回答 教育長

越境入学の制度は特例である。よっぽどの理由がないと認められない。

保護者の考え方も多様化している。

児童数は5年先までシュミレーションはしている（人数の見通し）。教育委員会で人を寄せるというのは難しい。

小1を含む場合は合わせて8人に満たない場合複式。小2以上は合わせて16人以下になると複式。複式学級は国の制度で、学級の人数を基にしてクラス編成し、教員を配置することになる。

< 休憩後 >

質問・提言

総合戦略の4つの基本目標。「ローカル経済で仕事生まれる」初めて聞いたフレーズ。どう作り上げるのか？今まで町外に依存していた部分を町内に取り入れて仕事を生み出すというものか？

回答総合政策室長

4つの目標は、国でも同じ方向性の目標を立てていて、それに沿っている。地域資源を活用した産業、規模は小さくても多様性に富んだものが脚光を浴び、経済の好循環が生まれるような社会を作っていきたい。6次産業化、異業種間連携、農林産業、食関連産業など新しい仕事が生まれて新しいお金が生み出されていく仕組みを作っていきたい。

質問・提言

総合戦略の中に岩手医大の影響が入っているかどうか？

回答総合政策室長

4番のプロジェクト、都市整備＝古館駅前の整備。今ある古館のためだけでなく、医大が矢巾に整備されることを受け、交通拠点強化することで住んでいただけるようなまちづくりを踏まえ駅前拠点整備プロジェクトを立ち上げた。人口推計には加味しているわけではないが、将来的に見通しをして優先的に整備を進めていく。

質問・提言

I L Cは紫波町に影響があるか？

回答企画課長

まだ先の話で、見込んでいない。影響があるのは住む場所として選ばれる可能性。広域8市町の会議等で情報は得ているが、紫波町ではまだ動いていない。

質問・提言

医大が来て、住宅開発が進むと、矢巾町にはダムがないので、紫波町に影響を及ぼすのではないかと水が足りなくなる？

回答建設部長

H26年度に岩手中部水道企業団が設立され、紫波町の上水道も統合となった。企業団では、施設維持管理に費用がかかるため施設の統廃合により経費節減を図っている。紫波町には、北上から水を持ってきている。矢巾町は人口増になるかもしれないが、全体的に人口が減り、節水機器の普及等により一人当たりの使用水量も減ってくるので、逆に水が売れなくなるのではと危惧している。紫波町では水が足りなくなることはないと思う。

質問・提言

花巻断層帯、どの程度の危険度合いなのか？集中豪雨で土砂崩れするか？何mm降ったらそうなるのか？地震は震度いくらかで断層が動くのか？

回答総務課長

県が調査し、発表したものを掲載している。震度6～7、7を超えるか、震源の深さに

よって震度も変わるので、未確定な状態。地震に備えていただく、起こった場合は避難
いただく。

【補足】断層の活動間隔は、4000年以上と考えられており、今後300年間で地震が発生
する確率はほぼ0といわれています。また、地震が発生した場合、マグニチュード7.4
程度の規模が想定されています。ただし、花巻断層帯の今後の活動について、明確な判
断はできないといわれています。

質問・提言

農産物について。紫波町の学校給食で地元のものを使っていると思うが、明確な規格が
あったが、今も存在するのか？あれば撤廃してもらいたい。

回答 教育長

給食センターで一日につき児童2800人、教職員250人、約3000食作っている。
建物は古くなっているが、3000食を時間内に作成できるような厨房機器類を揃えている。
規格外は処理できない問題がある。食材は4割程度、紫波町産を使用するよう心がけて
いる。

質問・提言

クマの被害の件。志和でもトウモロコシ、スイカなど生産している。今後収穫時期を迎
えるに際し被害が予想されるが、町では対策を立てているのか？

回答 企画課長

環境課によると、目撃情報は例年と同等か少ない状態。中央保育所、街場での目撃が多
い。目撃数が少ないからといって、頭数が少ないとは限らない。環境課では前年の状況
から目撃頭数が増えると予想していたようだ。ラジオはクマにも聞こえるくらい大き
な音でかけておくことが大切。人を見ても逃げないクマがいるとのこと。（紫波町ではな
いがテレビで報道されている。）対策は模索中で、情報収集をしているとのこと。

回答 農林課長

環境課と一緒に鳥獣対策をしている。農林課は、農作物に被害があった場合の対応をし
ている。電気柵の事業を持っているので予防策として対応している。盛岡市太田での取
り組みは、下草刈りをするなどの手入れをすることで、クマが隠れる場所を無くすこと
で、出没が多い地区での出没が減った。他の対策については鳥獣被害防止対策協議会と
協議していきたい。

回答 企画課長

ハンター数は20人くらい。クマは県の許可がないと撃てない。身の危険がある場合（襲
いかかってきたとき）でないと撃ってはいけないとのことであり、かなり危険を伴うも
のとのこと。

質問・提言

市町村合併はないものとしての総合戦略か？

回答 企画課長

議会の一般質問での町長答弁では「合併は考えていない」とのこと。

【町長総括】

- ・ 矢巾町は盛岡の梁川ダムからもらう様子。ある程度の負担をするようだ。紫波町の水が矢巾につながることはない。
- ・ 人口減少については、日本全体の問題であり、紫波町だけ他から連れてきて増えるということはない。
国道4号～JR間は宅地開発するとすぐ売れる状況。赤石小、日詰小の児童数は増えている。東部、西部地区では、生まれるよりも亡くなる数が多い。子育て世代にPRして住んでもらえるようにしていかなければならない。
- ・ かしこい子どもを育てたい。就学してからでは遅いので、0歳児～幼児教育から義務教育まで一貫して行えるよう配慮したい。先生方が困らないような前段階が必要と捉え、「子ども課」を今年から設置した。
- ・ 企業誘致の問い合わせはあるが、条件等がなかなかマッチングしない。
- ・ 農業、ローカル経済については、人口減少で一番困るのはローカル経済。サービス産業、人口減少するとどんどん縮小する。外貨を稼げるのは農業である。いいものを作って売る、それが一番難しいが、いろいろ芽が出てきている。農業が外貨を稼げるようにならないと本当の活力は出てこない。
- ・ ILCについて。岩手はスイスに環境が似ている。紫波町は住んでもらえる条件が整っていると思う。地元の人が生き生きしていないと選んでもらえないのでは。
- ・ H25年度の災害（30億円規模）、やっと復旧工事が終わり、建設部門に予算を配分したい。皆さんの意見を聞きながら、節目に新しいことに取り組んでいかないといけないと思っている。

まちづくり座談会～佐比内公民館～

- ◆日時 2016年6月21日(火) 午後7時～9時
- ◆場所 佐比内公民館
- ◆参加人数 14人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、環境課長、建設部長、
企画総務部長、企画課長、財政課長、国体推進課長、総務課職員 1人
企画課職員 4人

質問・提言

以前、電話で「公民館に何人くらい避難できるか？」と聞かれた。実際避難したこともないので、1人1～2畳で2～30人くらいと答えた。大災害が起きた場合に備え、第三分館では、地区の予算でラジオ、ライト、ストーブ、やかん等は準備している。第三分館から外の場所へ避難指示があった場合、連絡をもらう手段がない。有線があればいいが使えない場合もある。町から避難所指定されているが、何も支給がない。水害や災害に備えて、考えていただきたい。

回答 消防防災室長

町内の他地区でも同様の意見がありましたので、計画的に最低限必要なものを整備していきたい。

回答 企画総務部長

防災無線で地区公民館と小中学校に連絡をとり、自治公民館は地区公民館との電話でのやりとりになる。既に避難者が居るとわかった場合は、毛布、食料、水、その他物資を避難所に搬入して避難所として対応していく。

質問・提言

災害が起きてから物資を持ってくるのではなく、事前に最低限のものを準備（備蓄）しておきたいということ。水害等で被災場所に陸路で行けない場合、ヘリポートの整備などはどうなっているか？

回答 企画総務部長

物資の件は計画的に順次対応していきたい。

回答 消防防災室長

ヘリポートの件は、消防署との協議によって、町内各小学校、紫波一中、紫波二中を利用することになっている。

質問・提言

危険溪流というのは、溪流があるという意か？溪流の流域を示すのか？
佐比内地区にはため池が2つあるが、決壊した場合の被害の想定は？

回答総務課長

オレンジで囲っている部分の流域は沢を中心に示している。大雨が発生したとき、想定される部分。

ため池（平栗、砥ヶ崎）については、過去の大雨災害等で崩壊などの被害が確認されなかったので浸水区域等の設定はしていない。用水池など満水期には変わってくると思うが、そこまで想定できないのが現状。

質問・提言

溪流の面積、稜線を挟んでいるが、どっちから水が流れるか分からない書き方だ。

回答総務課長

稜線を挟んでいる箇所は、水は高いところから低いところへ流れるものとして見てほしい。

質問・提言

花巻断層帯が西側の山手にあるように書かれているが、佐比内には断層帯はないのか？

回答総務課長

東地区は、現段階の調査（文献等）では見つけられなかった。佐比内には確認されているものはない。

質問・提言

佐比内のふるさとセンターについて。「峠の駅 紫波ふるさとセンター」という名前だった。その後、道の駅誘致の際に、「駅」の表記が差し障りあるとのことで3年ほど使わないようにしていた。地方創生事業で道の駅に昇格できないものか？道の駅とするだけでも、活性化に大きな効果が生まれると考える。

回答建設部長

県とは、峠の駅をつくる際に、国道 396 号の既設のポケットパークとの調整で苦労した経緯がある。道の駅に昇格できるかという点についてはすぐに答えられないが、一つの案として県から確認を取っていきたい。

しかし、道の駅にするためには、トイレ、案内板等の整備条件があり、ハードルは高いと考える。

質問・提言

防火水槽、消火栓が佐比内7区の横寺から観光ぶどう園にかけてのルートにない。水の

便が不便なので、設置してほしい。消防団からも要望あり。

回答消防防災室長

場所を確認し、相談検討していきたい。

【補足】後日、現地を確認いたしました。

質問・提言

佐比内の水田、流動化も集積も難しい。耕作放棄地は1割を越えている。今後はもっと増えそう。畑についてはやっつけていけるが、水田はどうしたらよいか。高齢化が進み10年後にはどうなっているかわからない。農業プロジェクトはなにか対策を考えているのか。

回答副町長

全国的な問題であるが、一つの自治体での対応は厳しい。強い農業、攻めの農業ではなく、食える農業にしてほしいと要望している。国の施策を5~10年も待てる状況ではない。担い手が居ない原因は食えないからというのも率直に話している。だが高齢化の波に勝てない。5年後、10年後がどうなるか見えないと設備投資もできない。町としては、県とともに声を上げていくしかない。つらい思いや米単作の厳しさは伝えている。町として、何とかしたいという思いで動いている。

質問・提言

米作はダメだといひ始めている。水田をそのままにするわけにもいかないし、何か考えていただければ。

回答副町長

集積しても苦しい。生産組合も高齢化が進んでいる。新規就農者、若い人も食えなければやらない。切実に訴えていきたい。

< 休憩後 >

質問・提言

総合戦略について平成27年度から5ヵ年計画を立てているようであるが、具体的に平成27年度のプロジェクトはどの程度進んでいるのか。町の資料で見られるのか？

回答総合政策室長

昨年度から総合戦略を進めている。7番のリノベーションについては先行して取り組んでおり、国の交付金を活用している。有識者会議（紫波町まち・ひと・しごと創生推進協議会）で、5月31日に昨年実施した事業について検証していただいた。今月中（6月中）にいただいた意見をホームページ上に公開予定。5番の新規就農は水分農産さんで1人体験就農を受け入れており、受入団体への補助、家賃補助をしている。観光関係は、観光交流協会でHPを一新したり、各種ツアーをツアー会社と提携して企画し実施

した。

質問・提言

平成27年度から始まっているプロジェクトは平成31年に実現できるか？

回答総合政策室長

数値目標を設定し、平成31年に実現するために取り組みを進めている。

質問・提言

パソコン等のネットワークについて。佐比内は光（回線）が繋がってなくて非常に不便。大迫で光がつながっているのに、なぜ佐比内できないのか。塾に行かなくても、ネットで塾の勉強が出来たりする時代なので、早急に整備を進めてほしい。

回答財産管理主幹

光回線については、佐比内、彦部と長岡の一部は未整備地区である。紫波町全体で5%の世帯数にあたる。全国では10%が不整備だが、その10%を整備するために、90%を整備したのと同額がかかるといわれている。昨年度、光回線が入っていない世帯にアンケートを実施し、NTTには要望を続けている。国では、全戸光回線化に向け未整備地区の解消などを目標（世界最先端IT国家創造宣言：デジタルディバイドの解消）としている。目標どおりにいくかわからないが、要望を続けていきたいと思う。

質問・提言

救急車を要請すると、紫波では出払って矢巾から来るのがよくある。矢巾よりも大迫からの方が近いのでは？近隣市町村で連携して活用できないか？

回答消防防災室長

紫波消防署に確認する。紫波消防署は、盛岡広域で計画的に救急活動を行っている。盛岡南、矢巾、花巻からも来ている。早めに現場に到着できるように、計画はされていると思うが確認する。

質問・提言

紫波町内に企業自体が少ない。スーパー関係は多くあるが、土日に行事があると、サービス業でパートとして働いている方は休めない。サービス業以外の企業誘致をお願いしたい。

回答企画課長

紫波インター周辺に企業を誘致するため動いているが、農地の関係で工場にできない場所であることから、この規制を外すことを進めている。現在の町内企業には町内で企業活動を続けていただけるよう活動している。

質問・提言

若年者が少ないのに、地区役員数は減らない。負担が大きく、住みづらい。

回答企画課長

平成26年度に地域自治組織等の調査を実施し、そのことは認識している。今ある役職は町を良くしていくために組織されたものであるが、人口減少によって現状にそぐわなくなってきた。各担当課で地域の状況を認識するために役場内で勉強会をしたいと考えている。地域でも、どういう状況なのか話し合う場を設け、話し合ってもらいたい。どういうことが課題になっているのか、町と地域がお互いに把握し改善につなげていきたい。

質問・提言

鳥獣被害について。ニホンジカの被害が近年増えている。野菜や稲が食べられている。被害が増えていることに対して、対策は何かあるのか？

回答総務課長（前農林課長）

ニホンジカの被害について、補助金もあるが、面積が広いと難しいところもあるだろう。生態が掴めていない上、行動範囲が広く、見極めが難しく、個体調査が出来ていない。平成23年の大震災以降、内陸のシカが増えてきていると県からも報告がある。頭数を減らす努力をしていきたい。有害鳥獣の協議会などで少しずつ協議をしながら進めている。

質問・提言

平成25年度の水害の復旧について。復旧されていない箇所がある。平成26年の秋になってもいっこうに復旧されないのでは役場に確認したら、把握していないし何も予定していないとのことで見てもらった。最近に一部直してもらったが、まだまだ直っていない。また、河床が低くなっているところがあり、橋げたなどが不安定になる心配があるので検討してほしい。

回答建設部長

河床低下については把握していなかった。平成25年度の水害は、本災部分が1箇所残っているだけで、町単分は無かったと記憶している。土木課から連絡し、詳細箇所を確認することとした。

【補足】後日、担当者が面談し、すぐの着手は困難であるが、今後検討する旨を伝えました。

質問・提言

ワラビの転作、3年目に収穫できる。漬物の需要が多く、キムチが人気。荒れている畑をワラビに転作しては？だが、スタート出来ても経済に結びつけるのは難

しい。経済に結びつかないと定着しない。

回答総合政策室長

地方創生の目指すところも、どうやって経済に結びつけるかということ。国の動向を見ても、交付金は地域の人たちが経済を回す仕組みを整えるためきっかけとしてほしいと考えているようだ。地域の資源を活用させていただく。やる気があれば出来ると思う。実現するために何が必要か、交付金等もいただけるかもしれないので、相談しながらやれる可能性はあるのでは。

質問・提言

国道 396 号の交通量調査は実施しているのか？交通量は多いと思う。佐比内の産直、最近はお客少ない。トイレの臭いが出てきている。設備が古い。そのため、近隣の別な産直へ人が流れているような気がする。気持ちよく利用出来るよう、トイレの修繕だけでもすぐお願いしたい。

回答企画課長

国体前に修繕の予定。8月ごろ着工予定のようだ。

質問・提言

バスは道の駅で休憩する。なので、名前だけでも道の駅に昇格できないか？

回答副町長

ご意見は頂戴しておきます。

質問・提言

インターネットを使用している。フルーツネットがなくなると聞いた。なくなると不便になるので、早急に光回線の整備をお願いしたい。

回答財産管理主幹

フルーツネットは有線回線。有線事業の廃止を含め、検討されている。9月ころに農協で座談会を開く予定。そこでも有線放送の今後について話題提供があるだろうとの事。

質問・提言

Yモバイルはどうか。

回答財産管理主幹

佐比内ではソフトバンクのアンテナがある。Docomo、au など携帯通信網での接続も可能。

回答企画課長

使い放題で回線のスピードも速いものがないか調べている。回線速度が遅いものは、塾の動画を見るのには適さないので、今後も調査していきたい。

質問・提言

国体では、佐比内に全国から大勢の人が来ることになる。印象に残るよう、観光 PR して
いってほしい。(金山など)

回答 国体推進課長

佐比内地区の皆様には、ロードレース大会の沿線地区としてご協力いただいている。沿
線の道路環境整備、コスモスの植栽、イベント時の出展、振る舞い、立哨員さんの協力、
地産地消弁当の開発、アトラクション等、いろいろなアイデアをいただいて佐比内地区
全体で盛り上げようという思いが伝わってきている。観光 PR のため、選手、関係者へパ
ンフレット配布等する。地区で作成しているものがあれば資料としていただきたい。振
る舞いのテントも準備する予定なので、佐比内地区をアピールしていただければと思う。
産直にも寄っていただけるよう PR していきたい。

【町長総括】

- ・企業誘致について。紫波インターチェンジ付近の農地の規制を解除してもらおうよう、
手続きを進めている。犬淵の工業団地にも問い合わせがあるが、マッチングがなかな
か出来ない。町にも問い合わせがあるが、流通関係は雇用（求人）がたくさんあるわ
けではない。若い人が働ける場所がない。
- ・条件の悪い水田は、湿田で排水の悪いところなのでかなり難しい。米についても、条
件が悪いところで作っているものは非常に厳しい。なにか付加価値がないと難しい。
- ・ワラビは金山にまつわるストーリーで活路を見出せるかもしれない。時代時代によっ
て条件が変わるので、投資しても回収できないと推測される場合は、面積が小さくて
も収益があがるような方向に変えていくなどしていかないといけないと思う。
- ・災害については、再度確認する。
- ・光回線整備について。有線放送は廃止になる方向。防災に関する一斉放送など、別な
通信網で対応できるよう整備が必要である。
- ・国道 396 号の交通量は減っていると思う。別な手立てを考えないといけないかと思う。
- ・鳥獣被害について。シカは猟友会に駆除をお願いしているが、なかなか成果が上がら
ない。朝日があがらないと鉄砲を撃てない規則なので難しい。釜石の山間地は部落全
体を取り囲まれ狙われているようだ。細かく戦略を立てないと駆除できないのではな
いかと思う。シカによる被害はどんどん増える傾向にあるので、今後、農林課と情報
を共有していきたい。

まちづくり座談会～水分公民館～

- ◆日時 2016年6月23日（水）午後7時～9時
- ◆場所 水分公民館
- ◆参加人数 16人
- ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、長寿健康課長、商工観光課長、土木課長、
総務課長、企画課長、国体推進課長、こども課長
総務課職員1人、企画課職員4人

質問・提言

防災地図上において、屯所の向かいに自宅がある。H25年の大水害の際、床上浸水間近だった。公民館後ろに田があり、自宅に排水路のヒューム管が来ているが、そこから水が来て、自宅付近が海のような感じだった。それが防災地図に反映されていない。地図に載っていないが被害がある箇所が多々あると思うが、被害想定がなされていないのでは？

回答 消防防災室長

マップに示された印、情報については、災害の直後に皆様からお聞きし反映したものであるが、今後、情報を加味して充実させていきたい。

質問・提言

土地改良区に情報提供いただいても良いのでは？

回答 消防防災室長

情報を加味するという事で、土地改良区にも問い合わせしてみる。

質問・提言

町の農業をどう考えているのか？紫波町農業委員会は規制が厳しいという話。緩和できるところは、してほしい。若い人に紫波町で農業を行ってもらうには、農業委員会や農林課の改革が必要ではないか？

回答 副町長

土地利用のあり方について、町の農業委員会が厳しいわけではなく、制度そのものが厳しいもの。町としても土地利用がしやすい状況ではない。県を通じて、農地の転用等の市長村等に権限委譲できるよう、申請している。農家、非農家も土地利用がしやすくなるよう、町でも動いている。

質問・提言

東北電力からの街路灯の寄贈の申請締切が2週間では短すぎる。

回答土木課長

寄贈街路灯に関しては、毎年この時期に皆様に通知をしている。今後はもう少し早めに対応する。街路灯は基本的に地区で設置していただいている。東北電力から2年に1度、十数基寄贈され、震災後は滞っていたが、H26年度から毎年寄贈されている。今年は9基の寄贈予定に対して30件ほど応募があった。東北電力から寄贈の申し出があったから、皆さんに通知しているが、設置希望箇所の協議などで時間を要するため、応募期間が短かった。今後早目に対応する。

< 休憩後 >

質問・提言

庁舎が新しくなり、財政がかなり厳しいと認識しているが、町道西部開拓線のわだち、雨の日に見てもらいたい。道路補修を希望する。

回答土木課長

水分地区内の幹線道路も大分老朽化している。特に、西部開拓線は交通量が多く、県道昇格を要望しているが、難しい状況にある。計画的な補修には国交省の交付金を財源に充当出来るが、橋梁やこ線橋などの点検や修繕など、人命に直接関わるものに交付が優先されている。ご指摘の財政状況にあるが、事故が起こらないよう、運転に支障がある場所から修繕していきたい。

質問・提言

有害鳥獣について。クマやハクビシンも見かける。最近の情報を聞かせて欲しい。

回答企画課長

他の会場での環境課の話をお伝えすると、町での目撃件数は昨年度と比較してすくないようだ。しかし、環境課では昨年の状況から、クマ出没が多くなるのではと予測していたとのこと。目撃件数が少ないが実際には出ているのではないかと認識している。また、テレビなどで新世代クマ（人間を恐れない）が出てきていることが報道されている。どうやって対処するかはまだ確立していない。音を出すことが大切。自分だけでなく、周りに聞こえるくらいの音（ラジオ）を出す。ハクビシンは河東地区で3～4年前から話題に出てきている。農林課、環境課に相談してほしい。

質問・提言

人口ビジョンと総合戦略について。紫波町全体で27,000人を維持していくには、中央部、水分、西部、東部の対策はどうなっていくのか？なぜ出生率が上がるのか？

回答総合政策室長

推計は、出生率が2.07になった場合で計算している。2.07は人口が減らない出生率だが、厳しい目標である。そこを目指してやっていく。現在1.39。対策は、先ほどのプロジェクトを進めていくことになるが、厳しいものである。

回答企画課長

すでに紫波町の子どもたちが少ないので、他からの流入がないと増えない。

日本は海外からの流入もほぼないので、日本全体の人口が減っていく、国も地方も一緒に考えようとするきっかけになった。人口が減っていく社会を経験していないので、どう立ち向かっていくか、みんなで準備していこうという動きでもある。27000人が幸せに暮らしていくためにみんなで考えていくことが大切。

質問・提言

リニアコライダーについて。ILCが建造されたとき、いろんな知識人、研究者が世界中から集まる。町の対応は、どのような取組みをしていくのか？

回答企画課長

ILC、北上、奥州がライン。盛岡広域8市町での会議等で情報は得ている。研究者の方々は、通勤で50km移動することは普通らしい。様々な価値観を持っているので、遠くても環境が良ければそこに住むという考え。盛岡は、大学があり、大きな街で自然があることをPRしていくようだ。紫波町は、独自に何かという動きはない。

質問・提言

子どもたちにとって、学校教育では経験できないような良い環境になるのでは？施設見学など、学校教育に取り込んでもらえると良い刺激になるのでは？将来の人材造りに利用出来るのでは？

回答教育長

ILCは国の決定が未だの状況。今までの教育は成長社会の中の平準化、画一的なものだった。20世紀になって、多様性の時代になり、個性的な自分の能力を發揮できるような教育を模索していかなければならない。学校教育をどうしていくか、今考えないといけない。学校教育審議会の中で、子どもたちに必要な力を考え動いている。

将来、今ある仕事（第2、3次産業など）が半分はなくなるだろうと言われている。

そういう未来を見据えて、対応できる子ども達に育てるための意見を聞かせて欲しい。

質問・提言

皆さん、ぜひ奥さん（女性も）を連れてきてほしい。

紫波中央駅前に保育所ができれば、夜まで見てもらえるなど保育の充実が図られれば、通勤圏なので人口増が期待できるのでは？何かPRしているのか？

回答こども課長

保育所は19時まで開所している。町内の人がほとんど。

質問・提言

21 時ころまで見てもらえないと、盛岡の通勤圏と言えないのでは？需要がないから 19 時までなのか？

回答こども課長

休日保育、一時保育というサービスもある。多様化しているので、どんどん変わっていくと思う。

回答企画課長

中央駅前の分譲広告では、分譲を進めることは忘れないが、結果として町内に暮らしてもらうことも重要なので、「紫波での暮らし」という形で広く広告している。広くは、東北エリアくらいまでをターゲットにしているが、町の特徴として県内からの流入が多く、盛岡市などで広告数を増やし PR している。

質問・提言

有線放送をやめる人が増えている。防災行政無線の設置が必要ではないか？

回答消防防災室長

防災情報は有線放送を利用しているが、他にケイタイによるエリアメール配信、防災メール、消防のメール、ラジオ等。有線放送に代わる情報発信装置については今後検討していきます。

質問・提言

行政区の区割りについて。50 戸ぐらいで1行政となっている様であるが、今後人口が減少した場合はどのような区割りになるか？

回答企画総務部長

町内 130 行政区ある。戸数は様々。地縁、集落などを単位としているので、見直しは地域の方の意向を第一に対応していきたい。

質問・提言

松戸市の行政サービスのように、「すぐやる課」を設置できないか？

回答企画課長

「すぐやる課」は依頼されたら、いったん駆けつけて市が行う。次は自分たちでやってもらうということが本旨と認識している。市民の皆さんがやらなければならないことはやっていただく、やり方はお教えるというもの。大都市での例であり財政が豊かなところではできる。

回答副町長

行政がみな抱え込むと経費がかさむ。経費＝税金、負担が増える。大切な税金をどう使うか、そのため（すぐやる課）に人を増やすのはどうなのか？すぐ、みんなで相談できるような体制作りが必要ではないか？扶助費で負担を強いることが増えると予想されるので、どう舵取りをしていけばよいのか、ご意見を聞きながら、しあわせな町民が増えるように目指していきたい。

【町長総括】

- ・人口について、社人研は 20000 人を切ると予測しているが、出生率 2.07 で 27000 人を目標にしたい。国道 4 号沿線沿いはあまり人口変動はないとみている。国道 4 号～JR の間の区域は、民間の宅地開発したところはすぐに売れる。
- ・紫波町の課題は農業。農業を強くすることが、将来元気でいられる町。
- ・インター周辺に、企業誘致を進めていきたい。
- ・ILC、岩手県に来ると決まれば、いろいろ変わってくる。町にはワイン、日本酒、果物、もちもち牛、温泉などがあり、研究者、知識人が紫波町に住むことも考えられる。英語の力をつけることが必要。学校と医療が充実していると選ばれるだろう。盛岡近郊の紫波は条件がよく魅力的と思う。
- ・道路の修繕。すぐ出来るもの、出来ないものがあるが、西部開拓線は県に県道昇格を要望していく。
- ・水分のお宝、楽しみにしている。
- ・今あるものを磨きをかけて、他に発信し、みてもらうことが大事。